

化学療法計画書

治療法名	エンハーツ		
コース数		コース目	
腫瘍種	胃がん (HER2陽性)		
患者名		♀	年齢
患者ID	生年月日		
部署		主治医	科 Dr
開始予定日			
治療内容	Day	1 8 15 22 29	
	予定日	1/0	1/7 1/14 1/21 1/28
エンハーツ	6.4 mg/kg	↓	↓
アロキシ	0.75mg	↓	↓
デキサート	6.6mg	↓	↓
デカドロン	8mg	↓↓↓	
治療開始日		治療間隔	3週毎 予定コース数
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.40 m ²
eGFR	60 ml/min	eGFR/BSA	49 ml/min

★間質性肺炎に留意 (CT 問診 酸素飽和度 など)

Day 1	
インラインフィルターを使用	
1) アロキシ 0.75mg 30分 デキサート 6.6mg	
↓	
2) 5%ブドウ糖 100ml エンハーツ 320mg	・ 1Vの溶解は水5ml ・ 調製後遮光カバー装着
↓	
3) 生理食塩液 50ml	フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意
初回90分
2回目以降
初回の忍容性良好なら30分で

投与開始基準 (選択基準)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ LVEF50%以上 ・ 好中球数 ≥ 1500 血小板数 ≥ 10万 ・ Hb ≥ 9.0, CCr ≥ 30, T-BiL ≤ 1.5 × ULN ・ AST/ALT ≤ 3.0 × ULN 	
休薬・中止基準 (LVEF)	
40% ≤ LVEF ≤ 45%	ベースから10%未満低下 → 休薬、3週間以内に再測定を行う ベースから10%以上低下 → 休薬、3週間以内に再測定を行う 絶対値の変化 < 10%に回復しない 場合中止
LVEF < 40%	→ 休薬、3週間以内に再測定を行う LVEF < 40%の場合中止
症候性うっ血心不全 → 中止	
休薬・中止基準 (T-BiL) (AST/ALT)	
G2	G1以下まで休薬 7日以内に回復は同一用量で 7日を超えて回復した場合は 1段階減量で
G3	G1以下まで休薬 7日以内に回復は1段階減量で 7日を超えて回復した場合は 投与中止
G4	中止
休薬・中止基準 (下痢)	
G3	G1以下まで休薬 3日以内に回復は同一用量で 3日を超えて回復した場合は 1段階減量で
G4	中止

休薬・中止基準 (好中球)	
G3	G2まで休薬 回復後1段階減量または同一用量で再開
G4	G2以下まで休薬 回復後1段階減量で再開
休薬・中止基準 (発熱好中球減少症)	
	回復するまで休薬 回復後1段階減量で
休薬・中止基準 (血小板)	
G3	G1以下まで休薬 7日以内に回復は同一用量で 7日を超えて回復した場合は 1段階減量で
G4	G1以下に回復後1段階減量して再開

減量の目安	
通常	6.4mg/kg
1段階減量	5.4mg/kg
2段階減量	4.4mg/kg
3段階減量	投与中止

心機能モニタリング (心エコー等) 4サイクル毎

デカドロンはday2の朝から

化学療法計画書

治療法名		XELOX			
コース数		コース目			
腫瘍種		大腸がん/胃がん			
患者氏名				♂	年齢
開始予定日	患者ID	生年月日		年	月 日
	部署	主治医		科 Dr	
治療内容	Day	1 8 15 22			
	治療予定日	1/0 / /			
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓			
カペシタビン	2000 mg/m ²	→ (朝・夕食後)			
デキサート	6.6mg	↓			
アロキシ	0.75mg	↓			
デカドロン	8mg	↓↓↓			
ピリドキサル	60mg	→ (朝・夕食後)			
治療開始日		治療 間隔	3週毎	予定コース	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.4 m ²
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min		

Day1

- 1) アロキシ 0.75mg 30分
↓
- 2) 5%ブドウ糖 250ml
デキサート 6.6mg 2h
オキサリプラチン 182mg (温罨法) 穿刺部位の十分な観察
↓
- 3) 生理食塩液 50ml フラッシュ

カペシタビン 投与量	
体表面積	1回用量
1.36m ² 未満	1200mg (4錠)
1.36m ² ~1.66m ² 未満	1500mg (5錠)
1.66m ² ~1.96m ² 未満	1800mg (6錠)
1.96m ² 以上	2100mg (7錠)
カペシタビン減量時投与量	
体表面積	1回用量
	減量1段階 減量2段階
1.41m ² 未満	900mg 600mg
1.41m ² ~1.51m ² 未満	1200mg 900mg
1.51m ² ~1.81m ² 未満	1500mg 1200mg
1.81m ² ~2.11m ² 未満	1800mg 1500mg
2.11m ² 以上	2100mg 1800mg

カペシタビン、ピリドキサルはday1の夕から
デカドロンはday2の朝から

投与開始基準

1. 好中球1,500以上 2. 血小板7.5万以上
 2. 脳転移のない患者 4. P S 0-1
 4. AST/ALT<100 5. T-BIL<2
 6. Cr<1.5×ULN
- カペシタビン (CCr<30未満は禁忌、30≤CCr≤50は75%量)

オキサリプラチン減量基準

1. 好中球 500未満
2. 血小板5万未満
3. G3以上の有害事象⇒オキサリプラチン100/m²に減量 (2回目発現時; 85mg/m²に減量)

カペシタビンの休薬・減量基準

- ・ G2の副作用⇒G0-1まで休薬 (再開時同一用量)
2回目:減量1段階 3回目:減量2段階で再開
- ・ G3の副作用⇒G0-1まで休薬→減量1段階で再開
2回目:減量2段階で再開

化学療法計画書

治療法名	XELOX (アレルギー)		
コース数		コース目	
腫瘍種	大腸がん/胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr
開始予定日	Day 1 8 15 22		
治療内容	Day	1 8 15 22	
	治療予定日	1/0	
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓	
カペシタビン	2000 mg/m ²	→ (朝・夕食後)	
デキサート	13.2mg	↓ (6.6mg × 2)	
アロキシ	0.75mg	↓	
ガスター	1A	↓	
レスタミン	5錠	↓	
デカドロン	8mg	↓↓↓	
ピリドキサル	60mg	→ (朝・夕食後)	
治療開始日		治療 間隔	3週毎 予定コース コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.4 m ²
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min

Day1

1) アロキシ	0.75mg	30分	
デキサート	6.6mg		
ガスター	1A		1) 開始と共にレスタミン内服

2) 5%ブドウ糖	250ml		
デキサート	6.6mg	2h	
オキサリプラチン	182mg		(温電法) 穿刺部位の十分な観察

3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------

投与開始基準
1. 好中球1,500以上 2. 血小板7.5万以上
3. 脳転移のない患者 4. PS 0-1
5. AST/ALT<100 6. Cr<1.5×ULN
7. T-BIL<2
カペシタビン (CCr<30未満は禁忌、30≤CCr≤50は75%量)

オキサリプラチン減量基準
1. 好中球 500未満
2. 血小板5万未満
3. G3以上の有害事象⇒エルプラット100/m ² に減量 (2回目発現時; 85mg/m ² に減量)

カペシタビン 投与量		
体表面積	1回用量	
1. 36m ² 未満	1200mg (4錠)	
1. 36m ² ~1. 66m ² 未満	1500mg (5錠)	
1. 66m ² ~1. 96m ² 未満	1800mg (6錠)	
1. 96m ² 以上	2100mg (7錠)	
カペシタビン減量時投与量		
体表面積	1回用量	
	減量1段階 減量2段階	
1. 41m ² 未満	900mg	600mg
1. 41m ² ~1. 51m ² 未満	1200mg	
1. 51m ² ~1. 81m ² 未満	1200mg	900mg
1. 81m ² ~2. 11m ² 未満	1500mg	
2. 11m ² 以上	1500mg	1200mg

カペシタビンの休薬・減量基準
・ G2の副作用⇒G0-1まで休薬 (再開時同一用量)
2回目; 減量1段階 3回目; 減量2段階で再開
・ G3の副作用⇒G0-1まで休薬→減量1段階で再開
2回目; 減量2段階で再開

カペシタビン、ピリドキサルはday1の夕から
デカドロンはday2の朝から

化学療法計画書

治療法名	G-SOX				
コース数		コース目			
治療法コード	胃がん				
患者氏名		♂	年齢		
開始予定日	患者ID	生年月日	年	月	日
	部署	主治医	科	Dr	
治療内容	Day	1 8 15 22			
	治療予定日	1/0 / / / /			
オキサリプラチン	100 mg/m ²				
エスワン	60 mg/回	→(朝・夕食後)			
デキサート	6.6mg	↓			
アロキシ	0.75mg	↓			
デカドロン	8mg	↓↓↓			
治療開始日		治療 間隔	3週毎	予定コース	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.4 m ²
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min		

Day1		
1) アロキシ	0.75mg	30分
↓		
2) 5%ブドウ糖	250ml	
デキサート	6.6mg	2h
オキサリプラチン	140mg	(温罨法) 穿刺部位の十分な観察
↓		
3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
day 1(夕食後開始) ~day15 (朝食後まで)		
Rp) S-1		BSA (m ²)
(20)	6錠/分2	>1.5
(25)	4錠/分2	1.25-1.5
(20)	4錠/分2	<1.25

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 ≥ 3000 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 75000 AST/ALT ≤ 100 (肝転移 ≤ 200) Cr < 1.5 下痢、口内炎 ≤ G1 神経障害 ≤ G2
S-1クール内休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 < 1000 ・ Plt < 75000 AST/ALT ≥ 100 Cr ≥ ULN × 1.5 下痢 ≥ G2 ・ 粘膜炎/口内炎 ≥ G2
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 ≥ 1000 ・ Plt ≥ 75000 Cr < ULN × 1.5 下痢 ≤ G1 ・ 粘膜炎/口内炎 ≤ G1

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	100mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
0	(-1)	(-2)
100mg/m ²	75mg/m ²	50mg/m ²

オキサリプラチン減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 75000 またはday22に75000以上100000未満の場合 FN
S-1減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 50000 FN 下痢 ≥ G3以上

デカドロンはday2の朝から
S-1は当日夕から

化学療法計画書

治療法名	G-SOX (アレルギー)		
コース数		コース目	
治療法コード	胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr

開始予定日

開始予定日	1	8	15	22
-------	---	---	----	----

治療内容	Day	1	8	15	22
------	-----	---	---	----	----

治療予定日	1/0	/	/	
-------	-----	---	---	--

オキサリプラチン	100 mg/m ²	↓	
エスワン	60 mg/回	→	(朝・夕食後)

デキサート	13.2mg	↓	(6.6mg × 2)
-------	--------	---	-------------

アロキシ	0.75mg	↓	
------	--------	---	--

デカドロン	8mg	↓↓↓	
-------	-----	-----	--

ガスター	1A	↓	
------	----	---	--

レスタミン	5錠	↓	
-------	----	---	--

治療開始日		治療 間隔	3週毎	予定コース	コース
-------	--	-------	-----	-------	-----

身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.4 m ²
----	--------	----	-------	-----	--------------------

eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min
------	-----------	----------	-----------

Day1		
------	--	--

1) アロキシ	0.75mg	30分	1) 開始と共にレスタミン内服
デキサート	6.6mg		
ガスター	1A		

2) 5%ブドウ糖	250ml	(温罨法) 穿刺部位の十分な観察
デキサート	6.6mg	
オキサリプラチン	140mg	

3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ
----------	------	-------

day 1 (夕食後開始) ~ day15 (朝食後まで)

Rp) S-1	BSA (m ²)
(20)	6錠/分2 >1.5
(25)	4錠/分2 1.25-1.5
(20)	4錠/分2 <1.25

投与開始基準		
--------	--	--

S-1クール内休薬基準		
・白血球	≥3000	
・好中球	≥1500	・Plt ≥75000
・AST/ALT	≤100 (肝転移 ≤200)	
・Cr	<1.5	
・下痢、口内炎	≤G1	
・神経障害	≤G2	

S-1クール内再開基準		
-------------	--	--

・好中球	<1000	・Plt <75000
・AST/ALT	≥100	
・Cr	≥ULN × 1.5	
・下痢	≥G2	・粘膜炎症/口内炎 ≥G2

S-1減量基準		
・白血球	<1000	
・好中球	<500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合)	
・血小板	<75000	
	またはday22に75000以上100000未満の場合	
・FN		

S-1減量基準		
---------	--	--

・白血球	<1000	
・好中球	<500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合)	
・血小板	<50000	
・FN		
・下痢	≥G3以上	

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	100mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
0	(-1)	(-2)
100mg/m ²	75mg/m ²	50mg/m ²

デカドロンはday2の朝から
S-1は当日夕から

オキサリプラチン減量基準		
・白血球	<1000	
・好中球	<500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合)	
・血小板	<75000	
	またはday22に75000以上100000未満の場合	
・FN		
S-1減量基準		
・白血球	<1000	
・好中球	<500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合)	
・血小板	<50000	
・FN		
・下痢	≥G3以上	

化学療法計画書

治療法名	SOX130/HER		
コース数	1	コース目	
治療法コード	胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr
開始予定日			
治療内容	Day	1	8
	治療予定日	1/0	/ /
トラスツズマブ	8 mg/kg	↓	
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓	
エスワン	60 mg/回		→(朝・夕食後)
デキサート	6.6mg	↓	
アロキシ	0.75mg	↓	
デカドロン	8mg	↓↓↓	
治療開始日		治療 間隔	3週毎 予定コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.4 m ²
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min

Day1			
1) 生理食塩液	50ml	血管確保	
↓			
2) 生理食塩液	250ml		
トラスツズマブ	400mg	90分	インフュージョンリアクションに注意
↓			
3) アロキシ	0.75mg	30分	
↓			
4) 5%ブドウ糖	250ml		
デキサート	6.6mg	2h	
オキサリプラチン	182mg		(温罨法) 穿刺部位の十分な観察
↓			
5) 生理食塩液	50ml	フラッシュ	
day 1(夕食後開始) ~ day15 (朝食後まで)			
Rp) S-1		BSA (m ²)	
	(20)	6錠/分2	>1.5
	(25)	4錠/分2	1.25-1.5
	(20)	4錠/分2	<1.25

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 ≥ 3000 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 75000 AST/ALT ≤ 100 (肝転移 ≤ 200) Cr < 1.5 下痢、口内炎 ≤ G1 神経障害 ≤ G2
S-1クール内休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> HER2過剰発現あり LVEF50%以上
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 < 1000 ・ Plt < 75000 AST/ALT ≥ 100 Cr ≥ ULN × 1.5 下痢 ≥ G2 ・ 粘膜炎/口内炎 ≥ G2
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 ≥ 1000 ・ Plt ≥ 75000 Cr < ULN × 1.5 下痢 ≤ G1 ・ 粘膜炎/口内炎 ≤ G1

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	100mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
0	(-1)	(-2)
130mg/m ²	100mg/m ²	75mg/m ²

デカドロンはday2の朝から
S-1は当日夕から

オキサリプラチン減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 75000 またはday22に75000以上100000未満の場合 FN
S-1休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 50000 FN 下痢 ≥ G3以上

化学療法計画書

治療法名	SOX130/HER (2コース目以降)		
コース数		コース目	
治療法コード	胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr
開始予定日			
治療内容	Day	1	8
	治療予定日	1/0	/
トラスツズマブ	6 mg/kg	↓	
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓	
エスワン	60 mg/回	→(朝・夕食後)	
デキサート	6.6mg	↓	
アロキシ	0.75mg	↓	
デカドロン	8mg	↓↓↓	
治療開始日		治療 間隔	3週毎 予定コース
身長	150 cm	体重	50 kg
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min

Day1	
1) 生理食塩液	50ml 血管確保
↓	
2) 生理食塩液	250ml
トラスツズマブ	300mg 30分
↓	
3) アロキシ	0.75mg 30分
↓	
4) 5%ブドウ糖	250ml
デキサート	6.6mg 2h
オキサリプラチン	182mg (温巻法) 穿刺部位の十分な観察
↓	
5) 生理食塩液	50ml フラッシュ
day 1(夕食後開始) ~ day15 (朝食後まで)	
Rp) S-1	BSA (m ²)
(20)	6錠/分 2 >1.5
(25)	4錠/分 2 1.25-1.5
(20)	4錠/分 2 <1.25

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 ≥ 3000 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 75000 AST/ALT ≤ 100 (肝転移 ≤ 200) Cr < 1.5 下痢、口内炎 ≤ G1 神経障害 ≤ G2 HER2過剰発現あり LVEF50%以上
S-1クール休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 < 1000 ・ Plt < 75000 AST/ALT ≥ 100 Cr ≥ ULN × 1.5 下痢 ≥ G2 ・ 粘膜炎/口内炎 ≥ G2
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 ≥ 1000 ・ Plt ≥ 75000 Cr < ULN × 1.5 下痢 ≤ G1 ・ 粘膜炎/口内炎 ≤ G1

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	100mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
	(-1)	(-2)
130mg/m ²	100mg/m ²	75mg/m ²

オキサリプラチン減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 75000 またはday22に75000以上100000未満の場合 FN
S-1休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 50000 FN 下痢 ≥ G3以上

デカドロンはday2の朝から
S-1は当日夕から
心機能測定は12週間に1回を目安

化学療法計画書

治療法名	SOX130/HER (アレキター)		
コース数		コース目	
治療法コード	胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	8	15	22
	治療予定日	1/0	/	/	
トラスツズマブ	6 mg/kg	↓			
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓			
エスワン	60 mg/回				→(朝・夕食後)
デキサート	13.2 mg	↓			
アロキシ	0.75mg	↓			
デカドロン	8mg	↓↓↓			
レスタミン	50mg	↓			

治療開始日		治療 間隔	3週毎	予定コース	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.4 m ²
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min		

Day1	
1) 生理食塩液	50ml 血管確保
↓	
2) 生理食塩液	250ml
トラスツズマブ	300mg 30分
↓	
3) アロキシ	0.75mg 30分
デキサート	6.6mg
ガスター	1A
↓	
4) 5%ブドウ糖	250ml
デキサート	6.6mg
オキサリプラチン	182mg 2h
↓	(温電法) 穿刺部位の十分な観察
5) 生理食塩液	50ml フラッシュ

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 ≥ 3000 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 75000 AST/ALT ≤ 100 (肝転移 ≤ 200) Cr < 1.5 下痢、口内炎 ≤ G1 神経障害 ≤ G2
S-1クール内休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 < 1000 ・ Plt < 75000 AST/ALT ≥ 100 Cr ≥ ULN × 1.5 下痢 ≥ G2 ・ 粘膜炎/口内炎 ≥ G2
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 ≥ 1000 ・ Plt ≥ 75000 Cr < ULN × 1.5 下痢 ≤ G1 ・ 粘膜炎/口内炎 ≤ G1

day 1(夕食後開始) ~ day15 (朝食後まで)			
Rp) S-1		BSA (m ²)	
(20)	6錠/分 2	>1.5	
(25)	4錠/分 2	1.25-1.5	
(20)	4錠/分 2	<1.25	

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	00mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
0	(-1)	(-2)
130mg/m ²	00mg/m ²	75mg/m ²

デカドロンはday2の朝から
S-1は当日夕から

オキサリプラチン減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 75000 またはday22に75000以上100000未満の場合 FN
S-1休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 50000 FN 下痢 ≥ G3以上

化学療法計画書

治療法名	トラスツズマブ/S-1		
コース数		コース目	
治療法コード	胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr
開始予定日	Day 1 8 15 22		
治療内容	治療予定日 1/0 / /		
トラスツズマブ エスワン	6 mg/kg 60 mg/回	↓ →(朝・夕食後)	
治療開始日		治療 間隔	3週毎 予定コース コース
身長	150 cm	体重	50 kg BSA 1.4 m ²
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min

Day1	
1) 生理食塩液 50ml	血管確保
↓	
2) 生理食塩液 250ml トラスツズマブ 300mg	30分 インフュージョンリアクションに注意
↓	
3) 生理食塩液 50ml	フラッシュ

day 1(夕食後開始) ~ day15 (朝食後まで)			
Rp) S-1		BSA (m ²)	
	(20)	6錠/分 2	>1.5
	(25)	4錠/分 2	1.25-1.5
	(20)	4錠/分 2	<1.25

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	100mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
0	(-1)	(-2)
130mg/m ²	100mg/m ²	75mg/m ²

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 ≥ 3000 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 75000 AST/ALT ≤ 100 (肝転移 ≤ 200) Cr < 1.5 下痢、口内炎 ≤ G1 神経障害 ≤ G2 LVEF 50%以上
S-1クール内休業基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 < 1000 ・ Plt < 75000 AST/ALT ≥ 100 Cr ≥ ULN × 1.5 下痢 ≥ G2 ・ 粘膜炎/口内炎 ≥ G2
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 ≥ 1000 ・ Plt ≥ 75000 Cr < ULN × 1.5 下痢 ≤ G1 ・ 粘膜炎/口内炎 ≤ G1

S-1は当日夕から
心機能測定は12週間に1回を目安

化学療法計画書

治療法名	G-SOX 130		
コース数		コース目	
治療法コード	胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr

開始予定日

治療内容	Day 1 8 15 22
治療予定日	1/0 / /
オキサリプラチン 130 mg/m ² エスワン 60 mg/回	↓ → (朝・夕食後)
デキサート 6.6mg アロキシ 0.75mg デカドロン 8mg	↓ ↓ ↓↓↓
治療開始日	治療 間隔 3週毎 予定コース コース
身長 150 cm 体重 50 kg BSA 1.4 m ²	eGFR 79 ml/min eGFR/BSA 64 ml/min

Day1	
1) アロキシ 0.75mg	30分
↓	
2) 5%ブドウ糖 250ml デキサート 6.6mg オキサリプラチン 182mg	2h (温罨法) 穿刺部位の十分な観察
↓	
3) 生理食塩液 50ml	フラッシュ

day 1 (夕食後開始) ~ day15 (朝食後まで)		
Rp) S-1	BSA (m ²)	
(20)	6錠/分2	>1.5
(25)	4錠/分2	1.25-1.5
(20)	4錠/分2	<1.25

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 ≥ 3000 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 75000 AST/ALT ≤ 100 (肝転移 ≤ 200) Cr < 1.5 下痢、口内炎 ≤ G1 神経障害 ≤ G2
S-1クール内休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 < 1000 ・ Plt < 75000 AST/ALT ≥ 100 Cr ≥ ULN × 1.5 下痢 ≥ G2 ・ 粘膜炎/口内炎 ≥ G2
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 ≥ 1000 ・ Plt ≥ 75000 Cr < ULN × 1.5 下痢 ≤ G1 ・ 粘膜炎/口内炎 ≤ G1

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	100mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
0	(-1)	(-2)
130mg/m ²	100mg/m ²	75mg/m ²

オキサリプラチン減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 75000 またはday22に75000以上100000未満の場合 FN
S-1減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 50000 FN 下痢 ≥ G3以上

デカドロンはday2の朝から
S-1は当日夕から

化学療法計画書

治療法名	G-SOX 130 (アレルギー)		
コース数		コース目	
治療法コード	胃がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	年 月 日
部署		主治医	科 Dr

開始予定日

治療内容	Day	1 8 15 22
	治療予定日	1/0 / /
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓ → (朝・夕食後)
エスワン	60 mg/回	
デキサート	13.2mg	↓ (6.6mg × 2)
アロキシ	0.75mg	↓
デカドロン	8mg	↓↓↓
ガスター	1A	
レスタミン	5錠	

治療開始日		治療 間隔	3週毎	予定コース	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.4 m ²
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min		

Day1		
1) アロキシ	0.75mg	30分
デキサート	6.6mg	
ガスター	1A	1) 開始と共にレスタミン内服
↓		
2) 5%ブドウ糖	250ml	
デキサート	6.6mg	2h
オキサリプラチン	182mg	(温番法) 穿刺部位の十分な観察
↓		
3) 生理食塩液	50ml	フラッシュ

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 ≥ 3000 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 75000 AST/ALT ≤ 100 (肝転移 ≤ 200) Cr < 1.5 下痢、口内炎 ≤ G1 神経障害 ≤ G2
S-1クール内休薬基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 < 1000 ・ Plt < 75000 AST/ALT ≥ 100 Cr ≥ ULN × 1.5 下痢 ≥ G2 ・ 粘膜炎/口内炎 ≥ G2
S-1クール内再開基準
<ul style="list-style-type: none"> 好中球 ≥ 1000 ・ Plt ≥ 75000 Cr < ULN × 1.5 下痢 ≤ G1 ・ 粘膜炎/口内炎 ≤ G1

day 1 (夕食後開始) ~ day15 (朝食後まで)		
Rp) エスワン		BSA (m ²)
(20)	6錠/分2	>1.5
(25)	4錠/分2	1.25-1.5
(20)	4錠/分2	<1.25

S-1減量		
BSA (m ²)	(-1)	(-2)
>1.5	100mg	80mg
1.25-1.5	80mg	60mg
<1.25	60mg	50mg
オキサリプラチン減量基準		
0	(-1)	(-2)
130mg/m ²	100mg/m ²	75mg/m ²

オキサリプラチン減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 75000 またはday22に75000以上100000未満の場合 FN
S-1減量基準
<ul style="list-style-type: none"> 白血球 < 1000 好中球 < 500 (またはday22にコース開始基準を満たさない場合) 血小板 < 50000 FN 下痢 ≥ G3以上

デカドロンはday2の朝から
S-1は当日夕から

化学療法計画書

治療法名		アブラキサン					
コース数		コース目					
腫瘍種		非小細胞肺癌 胃がん					
患者名				♂		年齢	
患者ID				生年月日			
部署				主治医			
開始予定日							
治療内容		Day		1 2 3 4 5 6 7 8 15 22 29			
予定日		1/0		1/7		1/14	
アブラキサン 100 mg/m ²		↓		↓		↓	
治療開始日				治療間隔		4 週毎	
身長		160 cm		体重		40.1 kg	
eGFR		79 ml/min		eGFR/BSA		60 ml/min	
				BSA		1.32 m ²	
				予定コース数		コース	

投与開始基準 (day1)	
好中球 ≥ 1500	
Plt ≥ 10万 Hb ≥ 9.0	
AST/ALT ≤ ULN × 2.5	
T-Bil ≤ 1.5、Cr ≤ 1.5	
(T-Bil高値の場合減量考慮)	
末梢神経障害 ≤ G2	

・末梢神経障害 ≥ G3
→アブラキサンのみ1段階減量

減量目安	アブラキサン
通常量	100mg/m ²
1段階減量	80mg/m ²
2段階減量	60mg/m ²

Day 1、8、15

投与可否の基準 (Day 8、15)	
・好中球 ≥ 1000	
・Plt > 50,000	
・末梢神経障害 ≤ G2	

インラインフィルターを使用しない

- 1) 生理食塩液 50ml 血管確保
↓
- 2) 生理食塩液 50ml 30分
アブラキサン 132mg 液量は (mg ÷ 5) ml
↓
- 3) 生理食塩液 50ml フラッシュ

アブラキサンの調製方法
生食50mlのボトルを空にする
抜いた生食はアブラキサンの溶解に用いる
1V=100mgを生食20mlで溶解し、
5mg/ml溶液とする
そこから必要量をとって、
空になった生食ボトルに戻す

化学療法計画書

治療法名	アブラキサン/サイラムザ					
コース数		コース目				
腫瘍種	胃がん					
患者名		♂	年齢			
患者ID		生年月日				
部署		主治医	科	Dr		
開始予定日						
治療内容	Day	1	8	15	22	29
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28
アブラキサン	100 mg/m ²	↓	↓	↓		↓
サイラムザ	8 mg/kg	↓		↓		↓
レスタミン	5錠	↓		↓		↓
治療開始日		治療間隔		4週毎	予定コース数	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²	
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min			

投与開始基準
好中球 ≥ 1500
Plt ≥ 10万 Hb ≥ 9.0
AST/ALT ≤ ULN × 2.5
T-Bil ≤ 1.5、Cr ≤ 1.5
(T-Bil高値の場合減量考慮)
末梢神経障害 ≤ G2

投与可否基準 (Day8、15)
・好中球 ≥ 1000
・Plt > 50,000
・末梢神経障害 ≤ G2
サイラムザの投与基準
尿蛋白 : 100mg/dl以下
サイラムザの有害事象G2未満

サイラムザの投与基準
尿蛋白 : 100mg/dl以下
サイラムザの有害事象G2未満

Day 8
インラインフィルターを使用しない
1) 生理食塩液 50ml 血管確保
↓
2) 生理食塩液 50ml 30分
アブラキサン 140mg 液量は (mg ÷ 5) ml
↓
3) 生理食塩液 50ml フラッシュ

Day 1、15
インラインフィルター使用
1) 生理食塩液 50ml 30分
↓
1) 開始と共に レスタミン5錠服用
↓
2) 生理食塩液 250ml 1回目は60分
サイラムザ 400mg 忍容性あれば
↓
以後30分で (全量250ml)
↓
3) 生理食塩液 50ml フラッシュ
↓
4) 生理食塩液 50ml ルート確保
↓
インラインフィルターを使用しない
5) 生理食塩液 50ml 30分
アブラキサン 140mg 液量は (mg ÷ 5) ml
↓
6) 生理食塩液 50ml フラッシュ

インフュージョンリアクション出現時
⇒一旦中止
G1, 2の場合は対症療法後状況に応じて減速も考慮
G3, 4 は再投与しない

尿蛋白
100mg/dl以下でRAM投与
300mg/dl中止
減量 8→6→5mg/kg

高血圧
G3未満 無症候性の場合⇒サイラムザ継続で降圧剤開始
症状あり⇒症状消失までサイラムザ中断で降圧薬継続
コントロール不良でサイラムザを2回中断するとき6mg/kg
更に延期が必要な場合、5mg/kgに減量
G3 無症状⇒強力な降圧剤を併用しサイラムザ継続
2週間こえてG3の場合降圧剤は継続、サイラムザ中止
2回以上中断時は6mg/kg、更に投与延期5mg/kg

・末梢神経障害 ≥ G3
→アブラキサンのみ1段階減量

減量基準	アブラキサン
通常量	100mg/m ²
1段階減量	80mg/m ²
2段階減量	60mg/m ²

アブラキサンの調製方法
生食50mlのボトルを空にする
抜いた生食はアブラキサンの溶解に用いる
1V=100mgを生食20mlで溶解し、
5mg/ml溶液とする
そこから必要量をとって、

化学療法計画書

治療法名		サイラムザ					
コース数		コース目					
腫瘍種		胃がん					
患者名				♂	年齢		
開始予定日		患者ID		生年月日			
		部署		主治医	科	Dr	
治療内容	Day	1 8 15 22 29					
	予定日	1/0		1/7	1/14	1/21	1/28
サイラムザ	8 mg/kg	↓			↓		↓
レスタミン	5錠	↓			↓		↓
治療開始日		治療間隔			予定コース数	コース	
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²		
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min				

開始基準 好中球 ≥ 1000 血小板 ≥ 75000 尿蛋白 : 100mg/以下 サイラムザの有害事象G2未満
--

Day 1、15
インラインフィルターを使用

- | | | | |
|----------|-------|---------|----------------------------|
| 1) 生理食塩液 | 50ml | 30分 | 1) 開始と共にレスタミン5錠服用 |
| ↓ | | | |
| 2) 生理食塩液 | 250ml | 1回目は60分 | 忍容性あれば
(全量250ml) 以後30分で |
| サイラムザ | 400mg | | |
| ↓ | | | |
| 3) 生理食塩液 | 50ml | フラッシュ用 | |

インフュージョンリアクション出現時 ⇒一旦中止 G1, 2の場合は対症療法後状況に応じて減速も考慮 G3, 4 は再投与しない

尿蛋白 100mg/dl以下でRAM投与 300mg/dl中止 減量 8→6→5mg/kg

高血圧 G3未満 無症候性の場合⇒サイラムザ継続で降圧剤開始 症状あり⇒症状消失までサイラムザ中断で降圧薬継続 コントロール不良でサイラムザを2回中断するとき6mg/kg 更に延期が必要な場合、5mg/kgに減量 G3 無症状⇒強力な降圧剤を併用しサイラムザ継続 2週間こえてG3の場合降圧剤は継続、サイラムザ中止 2回以上中断時は6mg/kg、更に投与延期5mg/kg

化学療法計画書

治療法名	パクリタキセル/サイラムザ			
コース数		コース目		
腫瘍種	胃がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	科	Dr

開始予定日								
治療内容	Day	1	8	15	22	29		
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28		
パクリタキセル	80 mg/m ²	↓	↓	↓		↓		
サイラムザ	8 mg/kg	↓	↓	↓		↓		
ガスター	1A	↓	↓	↓		↓		
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓		↓		
レスタミン	50mg	↓	↓	↓		↓		
治療開始日								
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m ²
			治療間隔	4週毎	予定コース数	コース		

投与開始基準 (day1)
<ul style="list-style-type: none"> ・好中球>1500 ・Plt>10万 ・T-Bil ≤ULN × 1.5 ・AST/ALT ≤ULN × 3 (肝転移 × 5) ・Cr ≤ULN × 1.5 または CCr ≥ 50 ・神経毒性G2以下 ・他のG2以上の非血液毒性なし
サイラムザの投与基準
尿蛋白 : 100mg/dl 以下
サイラムザの有害事象G2未満

投与可否基準 (day8, 15)
<ul style="list-style-type: none"> ・好中球>1000 ・Plt>75,000 ・AST/ALT ≤ULN × 3 (肝転移 × 5) ・T-bil ≤ULN × 1.5 ・神経毒性G2以下 ・他のG2以上の非血液毒性なし
サイラムザの投与基準
尿蛋白 : 100mg/dl 以下
サイラムザの有害事象G2未満

Day 1・15	
インラインフィルターを使用	
1) 生理食塩液 50ml	15分
ガスター 1A	
デキサート 6.6mg	
点滴中にレスタミン 5錠内服	
↓	
2) 生理食塩液 100ml	30分
↓	
3) 生理食塩液 250ml	1回目は60分 忍容性あれば 以後30分で
サイラムザ 400mg	
(全量250ml)	
4) 生理食塩液 50ml	フラッシュ
↓	
5) 5%ブドウ糖 250ml	60分
パクリタキセル 112mg	
↓	
6) 生理食塩液 50ml	フラッシュ

Day 8	
インラインフィルターを使用	
1) 生理食塩液 50ml	15分
ガスター 1A	
デキサート 6.6mg	
点滴中にレスタミン 5錠内服	
↓	
2) 生理食塩液 100ml	30分
↓	
3) 5%ブドウ糖 250ml	60分
パクリタキセル 112mg	
↓	
6) 生理食塩液 50ml	フラッシュ

パクリタキセル投与中も、アレルギー症状の出現を厳重にチェック
アルコールに弱い人・お酒を飲めない人への投与時、注意

インフュージョンリアクション出現時
⇒一旦中止
G1, 2の場合は対症療法後状況に応じて減速も考慮
G3, 4 は再投与しない
尿蛋白
100mg/dl 以下でRAM投与
300mg/dl 中止
減量 8→6→5mg/kg

パクリタキセル減量基準
G4の血液毒性またはG3の非血液毒性
⇒次コースからPTX10mg/m ² 減量
毒性が続くまたは再発 更に10mg/m ² 減量
60mg/m ² 未満に減量する必要がでたとき
中止

高血圧
G3未満 無症候性の場合⇒サイラムザ継続で降圧剤開始
症状あり⇒症状消失までサイラムザ中断で降圧薬継続
コントロール不良でサイラムザを2回中断するとき6mg/kg
更に延期が必要な場合、5mg/kgに減量
G3 無症状⇒強力な降圧剤を併用しサイラムザ継続
2週間こえてG3の場合降圧剤は継続、サイラムザ中止
2回以上中断時は6mg/kg、更に投与延期5mg/kg

化学療法計画書

治療法名	トラスツズマブ+FP800/80		
コース数	1	コース目	初回
腫瘍種	胃がん		
氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
トラスツズマブ	8 mg/kg	↓											↓			
5-FU	800 mg/m2	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓								↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
シスプラチン	80 mg/m2	↓											↓			
アロキシ	0.75mg	↓											↓			
デキサート	9.9mg	↓											↓			
デキサート	6.6mg		↓↓↓										↓↓↓			
プロイメンド	150mg	↓	(抗がん剤開始 1時間前)										↓	(抗がん剤開始 1時間前)		
オランザピン	5mg	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓								↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
治療開始日									治療間隔	3週間	予定コース数					コース
	182.6	cm	体重	77.7	kg	BSA	1.50	m2	eGFR	79	ml/min	eGFR/BSA	68	ml/min		

Day 1	
投与開始基準	
<ul style="list-style-type: none"> HER2過剰発現あり LVEF50%以上 WBC>3000, かつ好中球>1500 Plt>100,000 AST/ALT<100, T-bil<1.8, Cr<1.2 CCr60以上 G3以上の非血液毒性なし 	

1) 生理食塩液 50ml 血管確保

2) 生理食塩液 250ml
トラスツズマブ 622mg 90分

メイン400ml/hで投与

3) 生理食塩液 500ml 75分

3) 開始直後に

4) 生理食塩液 100ml 30分
プロイメンド 150mg

4) 終了直後に

5) アロキシ 0.75mg 30分
デキサート 9.9mg

6) 生理食塩液 総量400ml 1h
シスプラチン 120mg

6) 終了直後に

7) ラシックス 20mg 側注

8) トリフリード 1000ml 24h持続点滴
5-FU 1200mg

8) 開始とともに

9) 生理食塩液 1000ml 150分
KCL 1キット
硫酸マグネシウム1A

Day 2-4

1) 生理食塩液 50ml 全開
デキサート 6.6mg

2) トリフリード 1000ml 24h持続点滴
5-FU 1200mg

翌日まで

Day 5

1) トリフリード 1000ml 24h持続点滴
5-FU 1200mg

2) 生理食塩液 50ml フラッシュ

2コース目の減量基準

- WBC<1000, Plt<25000
- 発熱性好中球減少
→CDDP 60, 5FU 600に減量
- Cr>1.5
→CDDP 60に減量

infusion reactionに注意 (トラスツズマブ)
心機能モニタリング12週毎
1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
オランザピン5mgはday 1の夕から (糖尿病の患者はオランザピン禁忌)

(毎日1日1回体重測定)

化学療法計画書

治療法名	トラスツズマブ+FP800/80		
コース数	1	コース目	2回目以降
腫瘍種	胃がん		
氏名		性別	♂
患者ID		生年月日	
部署		主治医	

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7				1/14		1/21	1/28

トラスツズマブ	6 mg/kg	↓													↓	
5-FU	800 mg/m2	↓↓↓↓↓													↓↓↓↓↓	
シスプラチン	80 mg/m2	↓													↓	
アロキシ	0.75mg	↓													↓	
デキサート	9.9mg	↓													↓	
デキサート	6.6mg	↓↓↓													↓↓↓	
プロイメンド	150mg	↓ (抗がん剤開始 1時間前)													↓ (抗がん剤開始 1時間前)	
オランザピン	5mg	↓↓↓↓↓													↓↓↓↓↓	

治療開始日	182.6	cm	治療間隔	3週間	予定コース数		コース
eGFR	79	ml/min	体重	77.7	kg	BSA	1.50 m2
			eGFR/BSA	68	ml/min		

Day 1	
投与開始基準	
<ul style="list-style-type: none"> HER2過剰発現あり LVEF50%以上 WBC>3000, かつ好中球>1500 Plt>100,000 AST/ALT<100, T-bil<1.8, Cr<1.2 CCr60以上 G3以上の非血液毒性なし 	

1) 生理食塩液 50ml 血管確保

2) 生理食塩液 250ml
トラスツズマブ 466mg 30分

3) 生理食塩液 500ml 75分
イン400ml/hで投与

4) 生理食塩液 100ml 30分
プロイメンド 150mg

5) アロキシ 0.75mg 30分
デキサート 9.9mg

6) 生理食塩液 総量400ml
シスプラチン 120mg 1h

7) ラシックス 20mg 側注

8) トリフリード1000ml
5-FU 1200mg 24h持続点滴

9) 生理食塩液 1000ml
KCL 1キット 150分
硫酸マグネシウム1A

Day 2-4

1) 生理食塩液 50ml 全開
デキサート 6.6mg

2) トリフリード 1000ml 24h持続点滴
5-FU 1200mg

翌日まで

Day 5

1) トリフリード 1000ml 24h持続点滴
5-FU 1200mg

2) 生理食塩液 50ml フラッシュ

2コース目の減量基準
<ul style="list-style-type: none"> WBC<1,000, Plt<25,000 発熱性好中球減少 →CDDP 60, 5FU 600に減量 Cr>1.5 →CDDP 60に減量

心機能モニタリング12週毎
1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
オランザピン5mgはday 1の夕から (糖尿病の患者はオランザピン禁忌)

(毎日1日1回体重測定)

化学療法計画書

治療法名		トラスツズマブ/カペシタビン			
コース数		コース目			
腫瘍種		胃がん			
患者名				♂	年齢
患者ID		生年月日			
部署		主治医		科 Dr	
開始予定日					
治療内容	Day	1 8	15	22	29
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21 1/28
トラスツズマブ	6 mg/kg	↓ →			
カペシタビン	2000 mg/m2				
治療開始日		治療間隔	4週毎	予定コース数	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2
eGFR	79 ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min		

Day 1	
<ul style="list-style-type: none"> ・ WBC ≥ 3000 または 好中球 ≥ 1500 ・ Plt ≥ 10万 Hb ≥ 9.0 ・ AST/ALT ≤ 2.5 × ULN ・ T-Bil < 1.5 × ULN ・ Cr < 1.5 × ULN 	
カペシタビン <small>(CCr < 30未満は禁忌、30 ≤ CCr ≤ 50は75%量)</small>	

- 1) 生理食塩液 50ml 血管確保
↓
- 2) 生理食塩液 250ml 30分
トラスツズマブ 300mg
↓
- 3) 生理食塩液 50ml フラッシュ

カペシタビンはday1の夕から
心機能モニタリング12週毎

中止基準				
<ul style="list-style-type: none"> ・ NYHA III/IVに該当する心筋障害が発現した場合 ・ 基準値より低値になった場合 ⇒ トラスツズマブ中止 				
	カペシタビン投与	カペシタビン減量基準		
		1回目	2回目	3回目
G3好中球減少 G3血小板減少	休薬 (最大14日間) G0-1になるまで	減量不要	減量-1	減量-2
G2 (上記外)		減量不要 or 減量-1	減量-1	減量-2
G3 (上記外)		減量-1	減量-2	中止
G4 (上記外)		事象毎に判断		中止

参考：カペシタビン投与量		
体表面積	1回用量	
1.36m2未満	1200mg (4錠)	
1.36m2~1.66m2未満	1500mg (5錠)	
1.66m2~1.96m2未満	1800mg (6錠)	
1.96m2以上	2100mg (7錠)	
カペシタビン減量時投与量		
体表面積	1回用量	
	減量1段階	減量2段階
1.41m2未満	900mg	600mg
1.41m2~1.51m2未満	1200mg	900mg
1.51m2~1.81m2未満		
1.81m2~2.11m2未満	1500mg	1200mg
2.11m2以上		

化学療法計画書

治療法名	XP/トラスツズマブ		
コース数	1	コース目	初回
腫瘍種	胃がん		
氏名		性別	♂
患者ID		生年月日	
部署		主治医	科
			Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
トラスツズマブ	8 mg/kg	↓											↓			
シスプラチン	80 mg/m ²	↓											↓			
カペシタビン	1000 mg/m ²	→											→			
アロキシ	0.75mg	↓											↓			
デキサート	9.9mg	↓											↓			
プロイメンド	150mg	↓											↓			
デカドロン	8mg													↓	↓	↓
オランザピン	5mg													↓	↓	↓
治療開始日																
治療間隔																
3週毎																
予定コース数																
コース																
身長	160	cm	体重	53	kg	BSA	1.50	m ²								
eGFR	79	ml/min	eGFR/BSA			68	ml/min									

Day 1

投与開始基準

- ・ WBC>3000, かつ好中球>1500
- ・ Plt>100,000
- ・ AST/ALT<100, T-Bil<1.8, Cr<1.2
- CDDPはCCr 60未満では減量考慮)
- カペシタビン
- (CCr<30未満は禁忌、30≤CCr≤50は75%量)
- ・ G3以上の非血液毒性なし
- ・ HER2過剰発現あり
- ・ LVEF50%以上

参考：カペシタビン投与量

体表面積	1回用量
1.36m ² 未満	1200mg (4錠)
1.36m ² ~1.66m ² 未満	1500mg (5錠)
1.66m ² ~1.96m ² 未満	1800mg (6錠)
1.96m ² 以上	2100mg (7錠)

カペシタビン減量時投与量		
体表面積	1回用量	
	減量1段階	減量2段階
1.41m ² 未満	900mg	600mg
1.41m ² ~1.51m ² 未満	1200mg	900mg
1.51m ² ~1.81m ² 未満		
1.81m ² ~2.11m ² 未満	1500mg	1200mg
2.11m ² 以上		

1) 生理食塩液 50ml 血管確保

2) 生理食塩液 250ml
トラスツズマブ 424mg 90分

メイン400ml/hで投与

3) 生理食塩液 500ml 75分

3) 開始直後に

← 4) プロイメンド 150mg 30分
生理食塩液 100ml

4) 終了直後に

← 5) アロキシ 0.75mg 30分
デキサート 9.9mg

6) 生理食塩液 総量400ml 60分
シスプラチン 120mg

6) 終了直後に側注

← 7) ラシックス 20mg

8) 生理食塩液 1000ml 150分
KCL 1キット
硫酸マグネシウム 1A

infusion reactionに注意 (トラスツズマブ)

心機能モニタリング12週毎

1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談

カペシタビンはday 1の夕から

オランザピン5mgはday 1の夕から (糖尿病の患者はオランザピン禁忌)

day1からの飲水指導

デカドロンはday 2の朝から

化学療法計画書

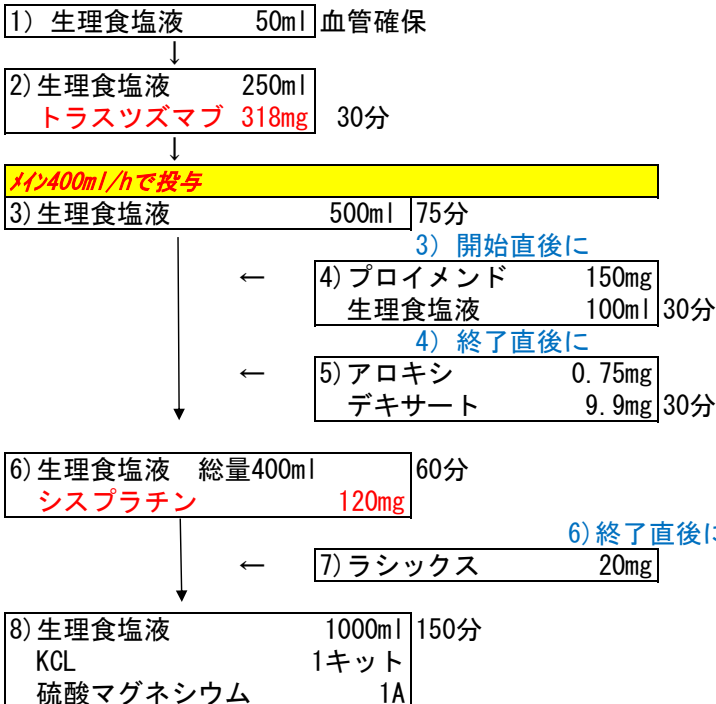
治療法名	XP/トラスツズマブ		
コース数	1	コース目	2回目以降
腫瘍種	胃がん		
氏名		♂	年齢
患者ID			生年月日
部署		主治医	科
			Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...	
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28		
トラスツズマブ	6 mg/kg	↓											↓				
シスプラチン	80 mg/m2	↓											↓				
カペシタビン	1000 mg/m2	→											→				
アロキシ	0.75mg	↓											↓				
デキサート	9.9mg	↓											↓				
プロイメンド	150mg	↓	(抗がん剤開始 1 時間前)														
デカドロン	8mg		↓	↓	↓								↓	↓	↓		
オランザピン	5mg		↓	↓	↓	↓							↓	↓	↓	↓	
治療開始日				治療間隔	3週毎	予定コース数											コース
身長	160	cm	体重	53	kg	BSA	1.50										m2
eGFR	79	ml/min	eGFR/BSA				68										ml/min

Day 1

投与開始基準
・ WBC>3,000, かつ好中球>1,500
・ Plt>100,000
・ AST/ALT<100, T-Bil<1.8, Cr<1.2
CDDPはCCr 60未満では減量考慮)
カペシタビン
(CCr<30未満は禁忌、30≤CCr≤50は75%量)
・ G3以上の非血液毒性なし



	カペシタビン投与	カペシタビン減量基準		
		1回目	2回目	3回目
G3好中球減少 G3血小板減少	休薬 (最大14 日間) G0-1にな るまで	減量不要	減量-1	減量-2
G2 (上記外)		減量不要 or減量-1	減量-1	減量-2
G3 (上記外)		減量-1	減量-2	中止
G4 (上記外)		事象毎に判断		中止

参考：カペシタビン投与量		
体表面積	1回用量	
1.36m2未満	1200mg (4錠)	
1.36m2~1.66m2未満	1500mg (5錠)	
1.66m2~1.96m2未満	1800mg (6錠)	
1.96m2以上	2100mg (7錠)	
カペシタビン減量時投与量		
体表面積	1回用量	
	減量1段階	減量2段階
1.41m2未満	900mg	600mg
1.41m2~1.51m2未満	1200mg	900mg
1.51m2~1.81m2未満	1500mg	
1.81m2~2.11m2未満		1500mg
2.11m2以上		

心機能モニタリング12週毎

1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談

カペシタビンはday 1の夕から

オランザピン5mgはday 1の夕から (糖尿病の患者はオランザピン禁忌)

day1からの飲水指導

デカドロンはday 2の朝から

化学療法計画書

治療法名	MTX+5FU			
コース数		コース目		
腫瘍種	胃がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID	生年月日			
部署		主治医	科	

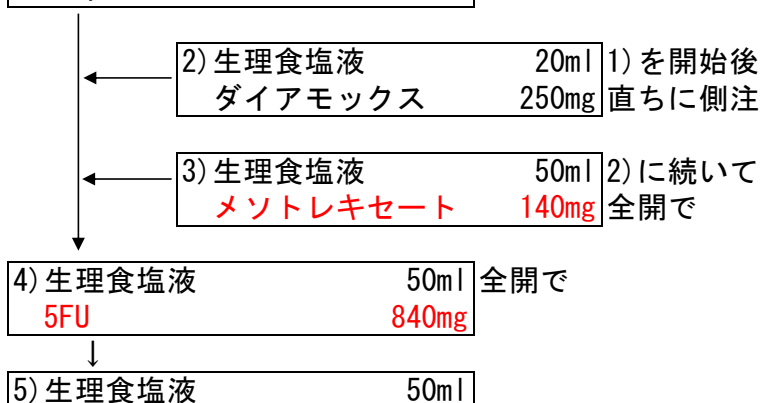
開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22	29	
	予定日	1/0						1/7				1/14				1/21	1/28
メソトレキセート 100 mg/m ²		↓							↓					↓			↓
5FU 600 mg/m ²		↓							↓					↓			↓
ロイコボリン 15mgx3		↓↓							↓↓					↓↓			↓↓
ダイアモックス 250mg		↓							↓					↓			
治療開始日									治療間隔	4週毎	予定コース数	コース					
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m ²									
eGFR	79	ml/min	eGFR/BSA	64 ml/min													

Day 1、8、15、22

投与可否の基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ WBC>3,000, かつ好中球>2,000 ・ Plt>100,000 ・ 下痢なし ・ PS 0-2 	

1) ソリタT3	500ml	3h
メイロン	40ml	



毎週投与翌日から翌々日

- ロイコボリン 5A(15mg) 静注
 - ロイコボリン 3錠(15mg) 経口
- メソトレキセートの開始24時間後から6時間ごとに計5回

追加指示 (主治医に確認)

- MTX血中濃度測定
MTX投与24時間後にヘパ血5ml採血
1x10⁻⁶mol/L未満を確認
それ以上のときは48時間後に再検
再検でも1x10⁻⁶mol/L以上のとき
 ロイコボリン15mg 静注または経口
 メイロン 2A+生食100ml点滴
- 利尿剤投与
Day 1の尿量1000ml以下のとき、
 ダイアモックス 500mg+生食20ml 静注